

## 国立大学法人お茶の水女子大学の中期計画 新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>○ 幅広い教養及びそれに裏打ちされた高度な専門的知識に基づく思考力を養成するため、<u>現行の</u> 21 世紀型文理融合リベラルアーツ等、学生のアクティブラーニングを促す教育を実施し、複数プログラム選択履修制度を一層有効に機能させる。社会の要請に応えることのできる教養、専門的知識に基づいた高度な思考力を養成するために、学部・大学院を通して、継続した学士・修士一貫の長期のカリキュラムを組み立てる複数の学修トラックを導入する。【K5】</p>	<p>○ 幅広い教養と高度な専門的知識に基づく思考力を養成するため、21 世紀型文理融合リベラルアーツ等、学生のアクティブラーニングを促す教育を実施し、複数プログラム選択履修制度を一層有効に機能させる。社会の要請に応えることのできる教養、専門的知識に基づいた高度な思考力を養成するために、学部・大学院を通して、継続した学士・修士一貫の長期のカリキュラムを組み立てる複数の学修トラックを導入する。<u>平成30年度に生活科学部心理学科を設置し、心理学の理論と実践を系統的に学び、科学的探求力と実践的応用力を身につけた人材を養成する。</u>【K5】</p>	<p>現在の21世紀型文理融合リベラルアーツ教育のカリキュラム内容等を見直し、将来に向けて社会に必要とされる高度な教養教育に再編するため、「現行の」を削除したことに伴う変更及び生活科学部心理学科の設置に伴う変更。</p>

## (2) 教育の実施体制等に関する目標を発生するための措置

- グローバル人材育成推進本部、国際本部、全学教育システム改革推進本部の下で、ACT (Advanced Communication Training) プログラム、サマープログラム、語学研修を有機的に連携させ、グローバル人材育成に向けた実践的な教育体制を構築する。【K8】

## (3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- 「新図書館構想（蔵書・コンテンツの充実、アクティブラーニングスペースの提供、知のコミュニティの形成支援を目的とした図書館の再整備計画）」に基づき、図書館や情報設備等を学習コンテンツ面・空間面・人的サポート面で充実させ、学生の能動的・多面的な学修環境を強化する。また、大学院生TA（ティーチング・アシスタント）による教育支援、附属図書館におけるLALA (Library Academic Learning Adviser) による学修支援及び総合学修支援センターによる学修相談を連携させ、学生の主体的学修を推進する。【K11】

- グローバル人材育成・男女共同参画推進本部、国際本部、全学教育システム改革推進本部の下で、ACT (Advanced Communication Training) プログラム、サマープログラム、語学研修を有機的に連携させ、グローバル人材育成に向けた実践的な教育体制を構築する。【K8】

- 「新図書館構想（蔵書・コンテンツの充実、アクティブラーニングスペースの提供、知のコミュニティの形成支援を目的とした図書館の再整備計画）」に基づき、図書館や情報設備等を学習コンテンツ面・空間面・人的サポート面で充実させ、学生の能動的・多面的な学修環境を強化する。また、大学院生TA（ティーチング・アシスタント）による教育支援、附属図書館におけるLALA (Library Academic Learning Adviser) による学修支援及び教学IR・教育開発・学修支援センターによる学修相談を連携させ、学生の主体的学修を推進する。【K11】

組織再編に伴う変更。

組織再編に伴う変更。

<p><b>3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>○ 第2期に実施した「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築」事業（ECCELL：エクセル）を拡充し、幼児教育・保育分野の社会人講座を、現行の学部レベルの科目から、更に大学院レベルの科目へと発展させ、自治体・地域と協働しながら、新しい子育て支援パラダイムを発信する。【K26】</p> <p><b>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>○ 年俸制教員の採用・切替えを促進し、平成33年度までに20名以上とするとともに、教員人事会議の下で学長主導の戦略的な教員配置を行う。【K40】</p>	<p>○ 第2期に実施した「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築」事業（ECCELL：エクセル）を拡充し、幼児教育・保育分野の社会人講座を、現行の学部レベルの科目から、更に大学院レベルの科目へと発展させ、自治体・地域と協働しながら、新しい子育て支援パラダイムを発信する。<u>日本の幼児教育、教育現場における実践理論をリードしてきた実績に基づき、社会のニーズに応えるため、平成30年度に文教育学部人間社会学科に、新たに子ども学コースを設置し、保育・幼児教育に関する理論と、その背後にある社会や文化の構造を学び、社会で活躍できる女性人材を育成する。</u>【K26】</p> <p>○ 年俸制教員の採用・切替えを促進し、平成33年度までに50名以上とするとともに、教員人事会議の下で学長主導の戦略的な教員配置を行う。【K40】</p>	<p>文教育学部人間社会学科子ども学コースの設置に伴う変更。</p> <p>平成28年度末で24名と中期計画を達成したため、更に学長主導による戦略的な教員配置を進めることに伴う変更。</p>
---	---	---

<p>○ 第2期に引き続き、優秀な若手教員の活躍の場を全学的に拡大するため、40歳未満の若手教員の採用を促進し、退職金に係る運営費交付金の積算対象となる教員における割合を<u>16%</u>以上にする。【K41】</p>	<p>○ 第2期に引き続き、優秀な若手教員の活躍の場を全学的に拡大するため、40歳未満の若手教員の採用を促進し、退職金に係る運営費交付金の積算対象となる教員における割合を<u>18%</u>以上にする。【K41】</p>	<p>優秀な若手教員の採用について、学長主導による戦略的な教員配置を更に進めることに伴う変更。</p>
<p><b>VIII 重要な財産を譲渡し又は担保に供する計画</b></p> <p>○ <u>なし</u></p>	<p>○ <u>旗の台地区の土地（東京都品川区旗の台六丁目507番9 739.93㎡）及び建物（120.91㎡）を譲渡する。</u></p>	<p>本学へ遺贈された土地及び建物を譲渡することに伴う変更。</p>

お茶の水女子大学ー1

（備考）

1. 中期目標、中期計画共に変更する場合は、それぞれ別葉で作成してください。
2. 変更する箇所（現行、変更案両方）にアンダーラインを引いてください。
3. 変更のない項目については記載の必要はありません。
4. 様式は、A4横の用紙に横書きとしてください。
5. 新旧対照表の枚数が複数になる場合は、両面印刷（長辺開き）とし、ホチキスはせず、クリップで留めてください。また、ページを記載してください。
6. 国立大学法人法第35条で準用する独立行政法人通則法第28条の4に基づき、国立大学法人評価の結果を適切に反映させることが必要であり、そのために中期計画を変更する場合は、その旨を変更理由欄に明記してください。